

現役生活の変化

取り巻く環境の変化 グラウンド・生活・大学編

30周年記念から10年…私たち現役世代は小学生・中学生時代でしょうか？私たちも歳をとったものです…。いえ、まだそんなことを言う歳ではありませんね…。

さて今回、私たち現役世代がそんな“若さ”を生かして、運河駅周辺を徹底調査いたしました！ここ10年で新しくできたものや変化・便利になったところなど盛りだくさんです。もちろん我々、ソフトボール部だって変化していきます。昔の風景など思い出しながら、現在までの理科大の生活の変化をお楽しみください。

①グラウンド編

私たちの日頃から使わせていただいている野田キャンパスの「**第一ソフトボール場（通称：Aグラ）**」にも変化があります。グラウンドの様々なところが、かなり綺麗に、そして便利になりました。過去の先輩方の功績あってのものですね…。「今、ソフトボール部はこんなところで活動しています。」をお伝えできればと思います。それではご覧ください。

(1) 1塁側フェンスネット

OBの方々をご存知の通り、第一ソフトボール場の一塁側の壁の向こう側は某宗教法人の敷地となっています。いままでは、いつものグラウンドでフリーバッティングなどを行うとほとんどのファウルボールがその敷地内に入ってしまう、ボールを取りに行くのは大変だったかと思えます。しかし、2015年、一塁側の壁に沿って壁の約5倍の高さがあるフェンスネットが完成いたしました！



これまで高さ2～3メートルの壁しかありませんでした…。このフェンスが出来てからは、練習だけではなく、練習試合を行う際も大変助かっております。今でも高いファウルフライなどは、その高いフェンスさえも超えて行ってしまうのですが…。たまに通りかかった方がボールをこちら側に返してくださることもあります。非常に助かっております。ありがとうございます！

こうして、日々グラウンドが便利になっていくのも、日頃から素晴らしい環境で練習が行えるのも先生方、学校の支援があってのものだとつくづく思います。本当に感謝しなければなりません。

さあ、現役部員たち！この素晴らしい環境でどんどんバッティング練習していきましょう！

インカレで日本一になることが最大の恩返しです！

(2) おまけ

・別のグラウンドも…。

私たちが普段使っているグラウンドは第一ソフトボール場ですが、チャレンジカップなどの大会があるときは、第二・第三ソフトボール場も使用します。(普段は男子・女子ラクロス部や軟式野球サークルが使用しています。)

この二つのグラウンドが平成 28 年度の冬に工事されました。グラウンドの土が掘り起こされて、今までよりも平らになりました！これで大会や練習試合がより充実したものになりました！ありがとうございます！！

さあ、これで綺麗なグラウンドが増えて部員がたくさんいても大丈夫です！！

来年こそは…大量部員入部、狙います。お任せください。(新歓係より)

・水道が…。

夏、私達の天敵となるのは気温、太陽、汗…。東北、北海道出身部員は想像するだけで吐き気がします…。さて、そんな苦しみから救ってくれるのが、我らのマネージャーが粉を溶かして作るドリンクです。たっぷりの氷にスポーツドリンク…。これが風呂上がりに飲むキンキンの冷えたビール並みにおいしいのです。そんなドリンクの源となる水道水の出る蛇口が今までは、第一ソフトボール場のセンターフェンス裏にあったのですが…。この左下の写真を見て、OGの方々はもうお分かりかと思います。なんと、水道が取り壊されてしまったのです。現在、マネージャーはテニスコートの水道まで取りに向かいます。(もちろん男子部員は手伝いに行きます。)少し、不便になってしまった一面ですね。しかし、我が部には頼れる優しい男子部員がたくさんいます。誰もが真っ先にお手伝いしますので、これからも私達の生命線であるドリンクを作ってください。マネージャーがいなければ本当に練習できない暑さです…。これからもよろしくお願いします！(ちなみに現在は、スクイズボトルを使って水分補給しています。練習後はマネージャーが洗ってくれます。今までのペットボトルでは少々、衛生上問題ありでしたからね…。)

2L ペットボトル代わりのスクイズボトル

↓マネージャーが毎日綺麗にしてくれています！



②新・食事処 編

一人暮らしの学生にとって、食事を考えるのはとても大変です…。親からの貴重な仕送りやコツコツためたバイト代をいかに節約するかが、学生にとっては死活問題であることを、一人暮らしを経験された方はご存知でしょう。**特に、私達運動部は食べます。とにかくよく食べるのです。**そんな私達を救済してくれるのが運河駅周辺の食事処です。今回は、ここ10年で新しくできたお店を中心に特集してみました。昔ながらのお店に間違いはありませんが、新しいお店でも新たな発見ができて良いですよ！それではご覧ください。

(1) 鶏そば まるだい

流山街道沿い、デカ盛りで有名な「けやき食堂」に並んで2016年にできた新しいラーメン屋です。メインメニューである「**鶏そば**」(左下)はなんと、**学生証を見せると500円**で食べることができます。



この「**鶏そば**」、麺は中麺でもっちりしていて、スープは鶏白湯で非常にコクがあります。それでいてあっさりしているので飲み干せてしまう美味しいスープでした。さらに、250円で本日のセット丼をつけることもできます。1,000円超えずに満足できるのは嬉しいですね！また、このお店では**つけ麺** (左下) も人気メニューです。



麺は太麺で、とろみのついた鶏白湯に黒ゴマを入れたスープがよく絡みます。さらに、黒ゴマの香りが鼻を抜けて一口すすれば幸せな気持ちになれます。ラーメンは「**うまくて早くて安い**」が良いですよ！学生の大きな味が運河駅周辺にできて私達も嬉しい限りです。これからたくさんお世話になっていきましょう。

(2) Tasty(テイスティ)

こちらのお店はつい最近、2017年11月にオープンした少々珍しい本格カレー屋です。インド人の方が経営していますが、日本語がとても流暢で、接客もとても丁寧です。店内は、様々なこだわりが見える、おしゃれなカフェのように落ち着いた雰囲気となっています。ランチとディナーの二つの時間で開いており、運河駅西口から歩いてすぐのお店ということで、大学のお昼休みに訪れる大学生もちらほら…。



このお店が大学生に人気の理由とは…なんとカレーにはナンかサフランライス、どちらをつけるか選ぶことができ、おかわり自由となっています！

ナンのサイズは約 40 センチほどあり、出来立てなのでとてもおすすめです。5 枚も食べる部員も…。

↓夜のマトンマサラカレー（スープ付き）



ランチタイムでは **690 円**のセットからあり、この安さも人気の秘訣となっています。肝心のカレーは、伝統的なスパイスが使われており、とても豊かな風味が特徴的です。「**マトンマサラカレー（ナン）**」と「**マトンカレー（サフランライス）**」をどちらもお腹いっぱいいただきました！

スープはいつものサービスになります。（暑い日はアイスをつけてくれます。）ありがとうございました！主食の米とパンでどんどん増量していきますましよう！！



お昼のAセット（690円）・マトンカレー

↑落ち着いた雰囲気の内

(3) 麒麟児（きりんじ）

運河駅西口を出てまっすぐ歩いていくと「竹泉」左隣に見える小さなラーメン屋です。こちらは2012年にオープンしたお店ですが、平日の夜は必ず行列ができるほどの人気店です。そして、人気ナンバーワンの「**油そば**」は500円から食べることができ、学生の財布には優しいお手頃価格となっております。写真は1つグレードアップした「**特性油そば**」(700円)で、卵とタレがよく絡み、



箸が止まりませんでした！にんにくやラー油、お酢などの無料調味料もあり、飽きずに様々な味を楽しむことができました。ランチの時間に行くと、半ライスを無料でつけることができ、残ったタレと具材で余すことなく、お腹一杯いただきました！運河で美味しいラーメンを食べるならぜひここへ！！



(4) 横浜家系ラーメン「壺角家」



こちらも運河駅西口を出てまっすぐ進み、「竹泉」右側にあるラーメン屋です。もともとここは「東京チカラめし」で、その前は「パン屋」が営業…と何度も変わっています。「壺角屋」はチェーン店であり、珍しくはありませんが、その安さとうまさを求めた理科大生で溢れています。このお店の定番の「**家系醤油ラーメン**」(左中)は690円で食べることができ、さらに、学生証の提示で、大盛 or トッピング(卵やほうれん草など) or ドリンカー一杯が選べます。 加えて、麺類を注文すればライスが無料で食べ放題になるという、まさに運動部のためにあるお店と言えるでしょう！肝心のお味はというと、麺は短めですすりきれて、濃厚スープがよく絡みます。麺の固さ、スープの濃さ、油の量は三段階で選ぶことができ、自分好みのラーメンが食べられるので、濃味が苦手な方も美味しくいただけます。無料のライスとこの家系スープはよく合い、多くのネギや刻み生姜、ラー油などの無料トッピングと組み合わせれば、もはや1つの商品とも言える家系ライスが完成します。無料に甘えて、たくさん食べてホームランバッターを目指しましょう！

ただし、炭水化物と油のオンパレードなので食べすぎには気を付けましょう…。

③学業編その1 (運河駅大改装)

野田キャンパスの理科大生なら必ずお世話になっていると言える運河駅が2013年、ついに**大改装され、新駅舎になりました!**大規模な改装工事で、地上大宮方面ホーム横にあった改札口(西側)と旧駅舎が、線路・ホーム上の2階へと移動し、**東口と西口、二つの出入り口と自由通路ができました。**

~Before~

↓旧駅舎(出入り口)と旧改札口



~After~

↓新駅舎、上から西口、東口、改札口





今までだと、理科大に行くためには、たった1つの改札口を出て逆の東側へ行ってから、ふれあい橋を渡るというルートだったと思います（上図、**赤-黄線**）。しかし、この改装のおかげで**東口を出てまっすぐ歩けば、ふれあい橋にたどり着くという大幅ショートカットが実現しました（上図、青-黄線）**。また、東西、両方向から出られるようになっただけでなく、両方の出入口すぐにファミリーマートが設置され、非常に便利になっています。東口側に住む学生も増えたのではないのでしょうか？ この大改装のおかげで理科大生の電車が1本遅れるくらい余裕ができました（個人差あり）。**時間に余裕ができたからといって、だらしのない生活を送るのではなく、その分1本でも多くバットを振る、1文字でもレポートを書く、そんな生活を送りたいです。**便利になることは素晴らしいことですが、それに甘えることのないように！ さあ、もうひと踏ん張り頑張りましょう！！

④学業編その2（新キャンパス設立）

2013年4月に**葛飾キャンパス（基礎工学部、工学部などが所属）が新たに設置されました。**当部では現在2人の学生が葛飾キャンパスに通っています。最寄り駅・金町駅から歩いて10分ほどの距離で、その葛飾キャンパスまでの商店街は弁当屋やラーメン屋、珍しい海鮮丼屋まで大学生に嬉しいお店がたくさんあり、野田キャンパスの学生が葛飾キャンパスを訪れると、皆うらやましく思うような、非常に素晴らしい立地です。広い立地を生かした**研究棟（左下写真）**や**講義棟（右下写真）**、そして、商店街の人々も学生に優しいと評判が高く、環境にはとても恵まれています。



そんな葛飾キャンパスのシンボルと言えるのが、図書館（左下写真・右下は内観）です。図書館は葛飾区民にも開放されており、地域連携の拠点となっています。600人収容のホールを備えており、当部はこのホールで2016年度に学長賞を受賞いたしました。また、図書館一階には葛飾区の科学教育センター「科学わくわく館」があり、子供たちの理科への関心を深めるなど、科学実験が行われたりします。このように、葛飾キャンパスは地域にも活用され、地元にも溶け込んでいます。



「葛飾」と聞けば東京が連想され、あまり運動するスペースがないように思う方もいらっしゃると思いますが、葛飾キャンパスには体育館（左下写真）やトレーニングルーム（右下写真）、テニスコートなど運動するには十分すぎるスペースがあります。当部の2人の部員は実験などで忙しくて、野田キャンパスに来られない日などは、葛飾キャンパスのトレーニングルームで体を鍛え上げています。葛飾キャンパス学生もソフトボール部でやっつけられる環境は十分にあると思いますので、来年からも葛飾キャンパスの新入生勧誘に力を入れます！！

